

年齢に負けず競い合い



11月8日、三好市池田総合体育館で三好市高齢者運動会が開催されました。この運動会は、三好市老人クラブ連合会主催によるもので、今回が2回目の開催となりました。

福祉施設や旧町村ごとに別れた8チームの約500人は、ボールを渡していく「ボール送り」や、魚のぬいぐるみを吊る「魚つりレース」など10種目を楽しみました。気持ち良い汗を流し、「来年も参加するのが楽しみ」という参加者の元気な声を残して終了しました。

そば刈り楽しいな



井内小学校では、地域住民との交流をとおして子ども達の健全な育成を図ろうと「うちっ子クラブ」を結成し、毎年そばの植え、そば刈り、脱穀、そば打ちの体験をしています。

今年も8月に植えたそばが大きく実り、さわやかな秋空のもと、保護者や、地域の方、先生と一緒に刈り取りをしました。子どもたちも、畑一面のそばを苦労しながら刈り取っていました。この刈り取ったそばは、そば打ち体験を通じて、保護者や地域の方々と一緒に試食する予定です。

福祉のまちづくり目指して



11月17日、第2回三好市社会福祉大会が開かれました。

式典では、地域福祉活動に貢献のあった24人と4団体に対して表彰と感謝状贈呈が行われ、会場からは、功労を称える大きな拍手が贈られました。式典後は受賞団体の活動発表やフリーマーケット、各団体による歌や踊りの披露、またミニコンサートなどが行われ多くの人々が楽しみました。午後からは落語家の三笑亭夢之助さんによる「健康は笑いから」と題された記念講演も行われました。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 総務課広報係
☎0883-72-7600

攻めダルマと過ごした青春

池田高校野球部を春夏3回の全国優勝に導いた故藁文也監督の功績を語り継ごうと、「攻めダルマと過ごした青春」と題した催しが、11月24日に三好市池田総合体育館で開催されました。

プロ野球解説者・水野雄仁さんの基調講演や、往時の甲子園メンバー6人（水野さんのほか、山本智久さん、橋川正人さん、島山準さん、江上光治さん、梶田茂生さん）が数多くの思い出を語り、全国から来場した約800人が笑い、そして懐かしんでいました。



文字の温もり温もり大切に



山城町出身の小説家富士正晴さん（1913-87年）の功績をたたえて創設された「富士正晴全国同人雑誌賞」の授賞式が、11月23日に池田総合体育館で開催されました。

大賞に選ばれた「法螺（ほら）」（大阪府枚方市）と、特別賞の「中部ぺん」「じゅん文学」（いずれも名古屋市）が表彰されました。式後、富士さんが創刊した「ヴァイキング」出身作家で、審査委員を務めた歴史小説家で直木賞作家の津本陽さんが「作家 富士正晴氏と私」と題し講演しました。

厳かに井内三社宮大祭



井内三社宮大祭が11月3日に井内町の馬岡新田神社にて晴天に恵まれ開催されました。特に今年は大規模改修がなされた中、約400人の氏子らで盛大に賑わいました。この祭りは歴史も非常に古く、行事は頭屋組が中心となり行なわれています。

神事などが行われたあと、神社前を出発し、先頭人、だんじり、長刀、猿田彦、鳥毛、弓、神輿らで旅を行い、神事場での氏みせは本年生まれた乳児を氏子として氏神様にご覧いただき、健康と多幸をお祈りしました。

親睦、交流、健康増進



11月2日、第23回西阿四郡親善ゲートボール大会が行われました。西阿四郡親善ゲートボール実行委員会の主催で行われているこの大会は今回で23回目を迎え、阿波市、吉野川市、美馬郡市、三好郡市から32チームおよそ230人が参加しました。

参加者はチームの仲間と連携を取りながら、また、普段は触れ合うことの少ない地域の方と交流の輪を広げながら元気にプレーを楽しんでいました。結果は優勝・準優勝とも吉野川市のチームでした。

山火事を想定した防災訓練



11月18日、火災シーズンを前に三野町消防団とみよし広域連合消防本部合同の防災訓練に消防団員ら約170人が参加しました。

健康とふれあいの森付近からの出火を想定し、三野町内全分団のポンプ車3台、小型ポンプ9台が出動、三野体育館裏から約1.2キロにわたりホースを延長して放水しました。県消防防災ヘリコプターも消火活動にあたりました。午後からは、非常食の試食、消火器やAED（自動体外式除細動器）の使い方も学びました。

温かさ伝わります



三好市養護老人ホーム敬寿荘の入所者の方が、座布団と背もたれを製作し、JR辻駅にプレゼントしました。これは9年前から行っているもので、設置済みの古い座布団や古い毛布などを再利用し、心をこめて手作りして新しいものに作り直して交換しました。

敬寿荘の皆さんは、駅ホームにある長椅子にそれらを取り付けると、早速座り心地を確かめていました。心のこもったプレゼントは温かさがとても伝わり、駅を利用する高校生や乗客にとっても好評です。

さっそうと初滑り



市営井川スキー場腕山が、11月22日に四国のトップをきってオープンしました。オープン日はリフト代が無料ということで、また誰よりも早く滑ろうと来場した多くのスキーヤーやスノーボーダーら約860人が、久しぶりの雪の感触を確かめていました。

三好市民は、顔写真入り住民基本台帳カードもしくは市民カード（井川総合支所で作成）を提示すれば、平日に限りリフト代が1000円となります。市内のプレイスポットにぜひ足を運んでみませんか。